

2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 竹本容器株式会社

コード番号 4248

URL <https://www.takemotopkg.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹本 笑子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長

(氏名) 戸田 琢哉 (TEL) 03(3845)6107

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	11,701	7.3	887	17.1	874	10.0	613	5.0
2025年12月期第3四半期	10,904	△8.4	757	△2.0	795	1.2	583	15.1

(注) 包括利益 2026年12月期第3四半期 660百万円(123.0%) 2025年12月期第3四半期 296百万円(△50.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	50.81	50.62
2025年12月期第3四半期	48.44	48.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	16,537	12,273	74.0
2025年12月期	16,827	12,067	71.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第3四半期 12,232百万円 2025年12月期 12,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2026年12月期	—	19.00	—		
2026年12月期(予想)				19.00	38.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 株主資本配当率(DOE) 2025年12月期 4.3% 2026年12月期(予想) 4.4%

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,800	9.0	1,150	16.0	1,200	12.3	900	16.7	74.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期 3 Q	12,529,200株	2025年12月期	12,529,200株
② 期末自己株式数	2026年12月期 3 Q	462,204株	2025年12月期	462,204株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期 3 Q	12,066,996株	2025年12月期 3 Q	12,054,952株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや、円安を背景としたインバウンド需要が拡大することにより、緩やかな回復基調が続いております。また、中国経済の先行き懸念に加え、ウクライナ・中東地域をめぐる国際情勢の不安が長期化する中、各種原材料・エネルギー価格の高騰などを背景とした物価高の影響により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社グループは生活上必要不可欠な容器・カタチ（容）あるウツワ（器）－をつうじて、お客様の商品である内容物の価値を安全に包み、さらにその価値と個性化を高め「世界の器文化に貢献」することを使命とし、お客様の求める商品価値の創造とより高い満足を目指して、Standoutなパッケージングソリューションを提供しております。

また、当社グループは自然に還りやすい「生分解性樹脂」を使用した容器を開発して以来、植物由来のバイオマス原料やリサイクルされた原材料を使用した容器、付替・詰替機能の付加により繰り返し使用できる容器、樹脂原材料の使用量を削減した容器など、資源循環型パッケージングカンパニーを目指して幅広くラインナップするとともに新たな製品開発も進めております。

当第3四半期連結累計期間における資源循環型パッケージング売上高は資源循環型パッケージングのラインナップ、品ぞろえの充実をお客様から評価いただいたことで、15億70百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

日本国内においては、スタンダードボトルを軸とした開発提案型の営業活動を継続して行い、お客様との接触頻度の向上やWEBでの製品紹介を行い新規案件売上増に貢献。さらにリピート案件売上も増加し、売上高は87億54百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

インド国内では化粧品市場の拡大に合わせた製品拡充に加え、デザインや品質への高い評価から取引顧客数が増加し、売上高は8億37百万円（前年同期比32.9%増）となりました。

中国国内では消費者の節約志向が継続し同業他社との競争激化もある中で、化粧品向けを中心に営業強化に注力した結果、売上高は21億32百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

損益面では日本国内は新規案件、リピート受注増加が寄与する中で、スタンダードボトル売上高の増加が粗利額、粗利率の向上に貢献し営業利益は増益となりました。また、インド国内では売上高が拡大することにより粗利額が増加し増益となりました。金型、成形機への設備投資を継続し、旺盛な受注増へ対応すべく供給体制の拡充をはかっています。中国国内では、生産現場の自動化・省力化ラインの範囲を拡張することで原価低減を継続しているものの、原材料価格の上昇などの影響により営業利益段階で赤字となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は117億1百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は8億87百万円（前年同期比17.1%増）、経常利益は8億74百万円（前年同期比10.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億13百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

なお、当社グループは、容器事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載を省略しています。

また、販売先主要事業内容ごとの販売実績売上高は次のとおりです。

区分	前第3四半期 連結累計期間 売上高(千円)	当第3四半期 連結累計期間 売上高(千円)	増減(比率)
化粧・美容	6,462,292	6,860,404	6.2%
日用・雑貨	742,230	886,824	19.5%
食品・健康食品	1,062,289	1,112,350	4.7%
化学・医薬	713,702	775,166	8.6%
卸、その他	1,924,433	2,066,667	7.4%
計	10,904,948	11,701,414	7.3%

(注) 1. 上記の区分は当社グループの販売品目である容器類について、販売先の主要事業内容により分類したものです。販売先における容器等の用途と上記区分名称は異なる場合があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2億89百万円減少の165億37百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して6億50百万円減少の89億42百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が12億47百万円減少、受取手形及び売掛金が2億87百万円増加、商品及び製品が1億81百万円増加、原材料及び貯蔵品が1億74百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して3億61百万円増加の75億94百万円となりました。主な変動要因は、機械装置及び運搬具（純額）が1億43百万円増加、その他（純額）のうち、建設仮勘定が1億48百万円増加、無形固定資産が1億37百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して2億21百万円減少の29億29百万円となりました。主な変動要因は、電子記録債務が1億67百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が34百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して2億74百万円減少の13億34百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が3億3百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2億5百万円増加の122億73百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金が6億13百万円増加、剰余金の配当が4億46百万円あったこと、為替換算調整勘定が46百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年1月30日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,548,340	3,300,867
受取手形及び売掛金	2,938,191	3,225,765
商品及び製品	1,447,258	1,628,807
仕掛品	53,680	58,446
原材料及び貯蔵品	399,992	574,673
その他	207,397	156,118
貸倒引当金	△1,644	△2,118
流動資産合計	9,593,216	8,942,559
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,013,617	2,851,285
機械装置及び運搬具（純額）	1,702,192	1,845,473
その他（純額）	1,736,696	1,951,640
有形固定資産合計	6,452,506	6,648,400
無形固定資産	499,539	636,605
投資その他の資産		
その他	281,764	310,264
貸倒引当金	—	△366
投資その他の資産合計	281,764	309,897
固定資産合計	7,233,810	7,594,903
資産合計	16,827,026	16,537,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	576,009	607,779
電子記録債務	935,529	768,334
1年内返済予定の長期借入金	438,489	404,016
未払法人税等	166,528	135,346
その他	1,034,082	1,014,025
流動負債合計	3,150,638	2,929,502
固定負債		
長期借入金	1,258,992	955,980
退職給付に係る負債	340,197	335,123
資産除去債務	9,927	9,942
その他	—	33,760
固定負債合計	1,609,117	1,334,807
負債合計	4,759,756	4,264,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,421	803,421
資本剰余金	1,032,469	1,032,469
利益剰余金	8,795,598	8,962,286
自己株式	△345,903	△345,903
株主資本合計	10,285,587	10,452,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,832	7,704
為替換算調整勘定	1,693,989	1,740,514
退職給付に係る調整累計額	34,493	32,131
その他の包括利益累計額合計	1,733,314	1,780,350
新株予約権	48,368	40,528
純資産合計	12,067,270	12,273,152
負債純資産合計	16,827,026	16,537,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
売上高	10,904,948	11,701,414
売上原価	7,649,298	8,118,342
売上総利益	3,255,649	3,583,071
販売費及び一般管理費	2,498,169	2,696,058
営業利益	757,480	887,012
営業外収益		
受取利息	30,919	26,764
受取配当金	72	72
為替差益	2,754	—
その他	13,003	9,912
営業外収益合計	46,749	36,749
営業外費用		
支払利息	8,226	6,734
為替差損	—	40,784
その他	771	1,287
営業外費用合計	8,997	48,806
経常利益	795,232	874,954
特別利益		
固定資産売却益	—	400
新株予約権戻入益	—	7,840
特別利益合計	—	8,240
特別損失		
固定資産除却損	629	297
特別損失合計	629	297
税金等調整前四半期純利益	794,603	882,897
法人税、住民税及び事業税	215,249	278,041
法人税等調整額	△4,574	△8,310
法人税等合計	210,675	269,731
四半期純利益	583,927	613,166
親会社株主に帰属する四半期純利益	583,927	613,166

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
四半期純利益	583,927	613,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,924	2,872
為替換算調整勘定	△288,934	46,525
退職給付に係る調整額	△856	△2,361
その他の包括利益合計	△287,866	47,035
四半期包括利益	296,061	660,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296,061	660,201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、容器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
減価償却費	723,026千円	741,012千円